# 言語聴覚士のチーム医療における課題

（一般社団法人日本言語聴覚士協会）

## チーム医療を実現するために

### １．必要とされる病院・施設に言語聴覚士の配置を

１）言語聴覚士が業務に従事している領域に偏りが見られる。
２）リハビリテーション施設基準等で必置となっていない。
３）言語聴覚士の絶対数が少ない。
４）訓練が必要であっても訓練を受けることのできない患者がいる（訓練適応患者の30％～40％に未実施）。

### ２．課題にそったチーム構成とカンファランスの実施を

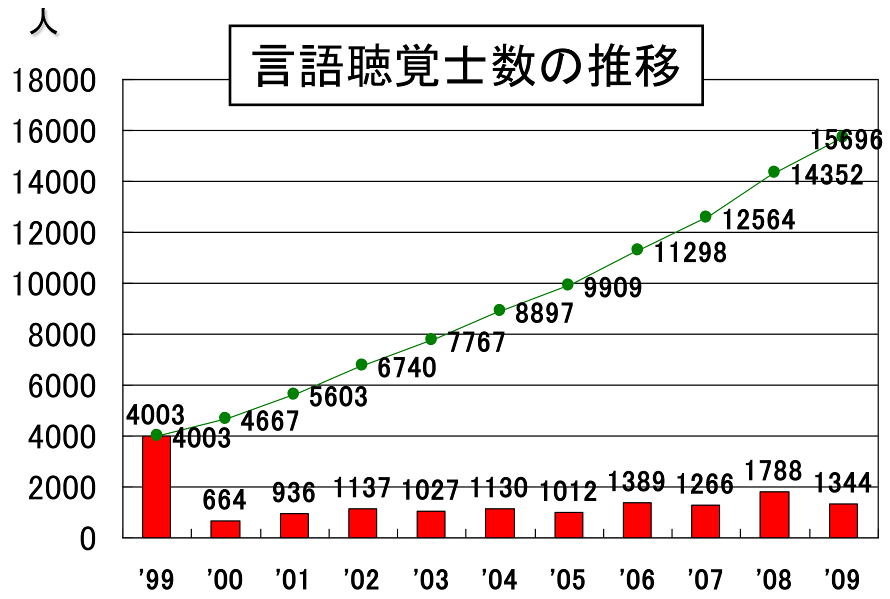
１）言語聴覚士の職務内容の理解促進
２）カンファランスの充実

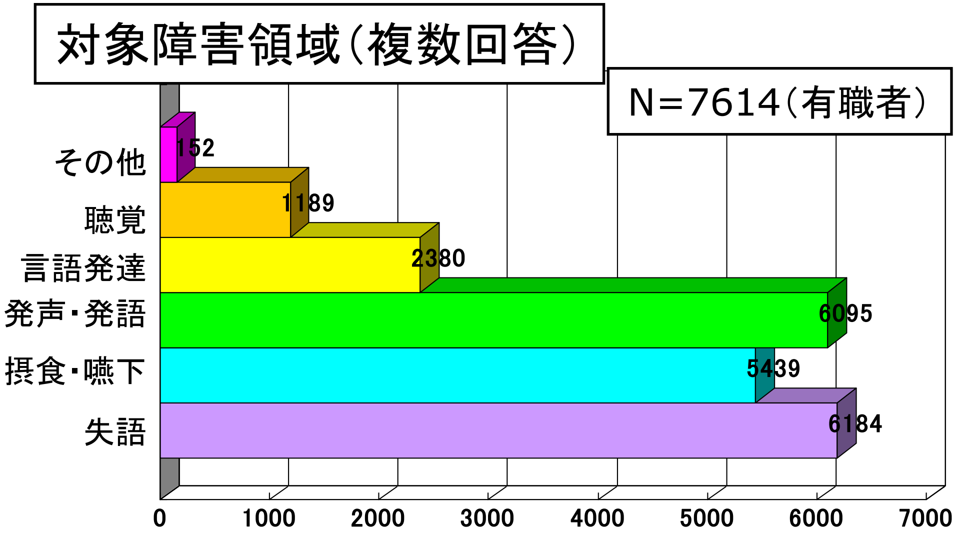
### ３．高度な言語聴覚療法を実現するための卒前・卒後教育の充実を

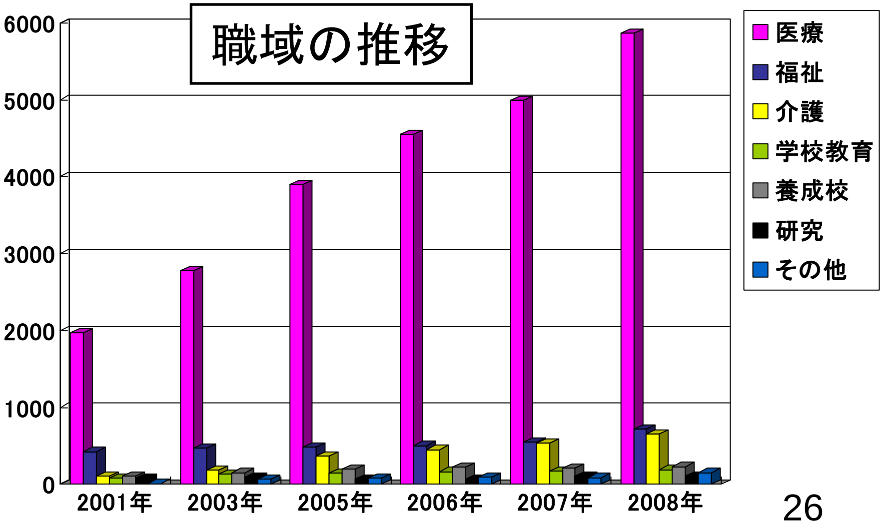
１）社会的認知度の向上
２）カリキュラムの検討（地域言語聴覚療法、関連職種連携演習）
３）臨床実習の充実
４）卒後研修、生涯学習の正当な評価

# 必要とされる病院に言語聴覚士の配置を

1. 介護保険領域、障害福祉領域で業務に従事する言語聴覚士が少ない。
2. 医療では、
   ①脳血管疾患等リハのみの位置づけであり、かつ言語聴覚療法を行う場合についてのみ配置することとなっている。
   ②回復期リハ病棟では必置となっていない。
3. 言語聴覚士の絶対数が不足し、かつ毎年誕生する有資格者数が少ないため、全ての領域で慢性的な人員不足が生じている。



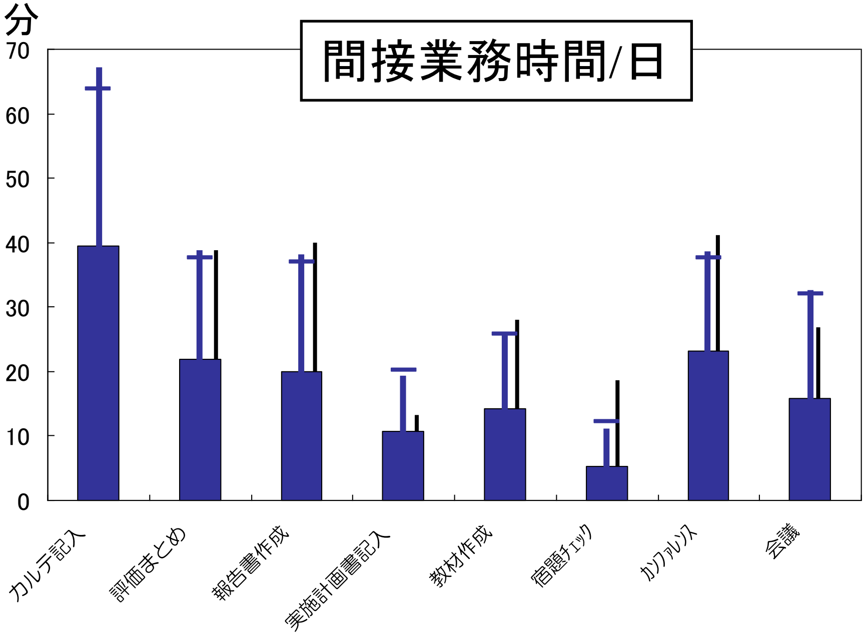



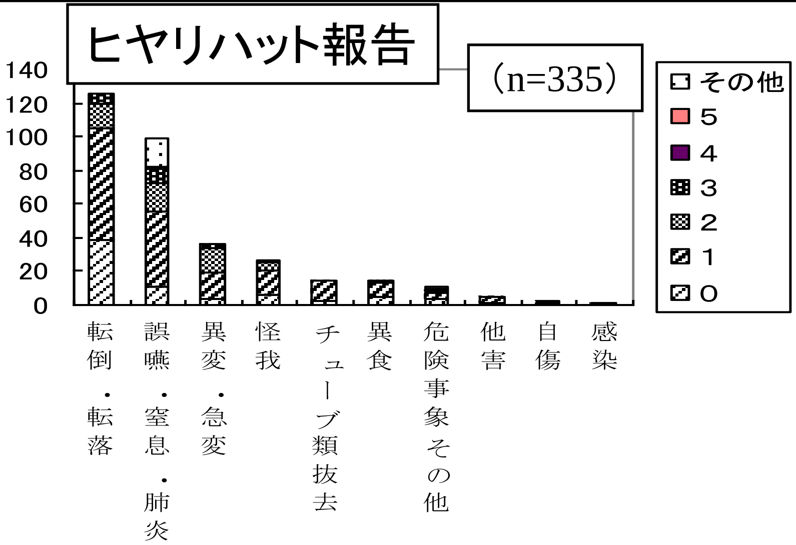
# 言語聴覚療法実施上の課題

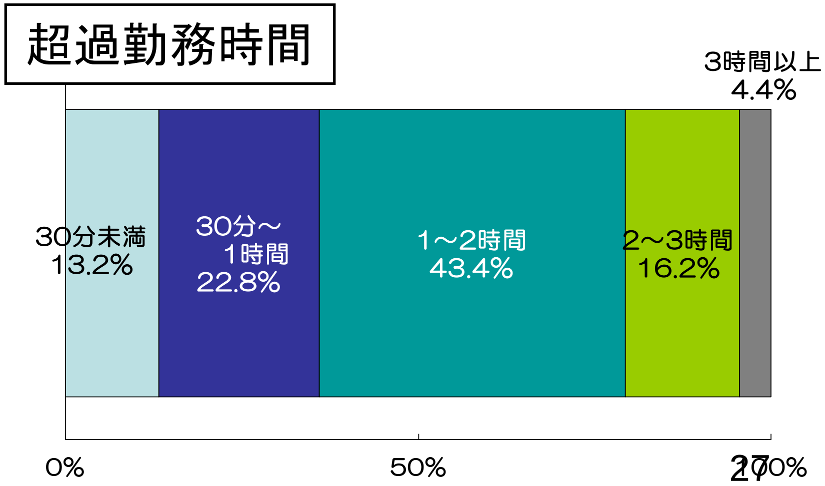
1．臨床の質が担保できる業務体制
・従事者1人につき一日に平均18単位で週10単位実施と規定されているが、最大24単位まで可能とされているため勤務形態によっては20単位を越えている場合も多い。
・書類作成等の間接業務も多い
・超過勤務が常態化している。（64%が1時間以上の超過勤務）

2．**<u>カンファランスに十分な時間を割けない</u>**。

3．安全な言語聴覚療法の実施
・嚥下訓練は高いリスクを伴う。訓練前後のケア（吸引等）が必要（特に訪問では）。



# 卒前・卒後教育の充実のために

1. 受験者数の減少：高校卒業人口の減少だけでなく、医療職、特にコメディカルに対する魅力を感じる高校生が減少している現実から、次世代の言語聴覚士を育成するために社会的認知度の向上が必要である。

2. 教育の質の向上：教育の質の確保のためにモデルコアカリキュラムの作成と教員研修の制度化が必要である。

3. 臨床実習の充実：専門職としての臨床における基礎的知識、態度を身につける臨床実習の充実のために、臨床実習施設の確保と指導者の指導技術の向上が必要である。

4. 卒後研修の充実：協会が実施している認定制度（認定言語聴覚士、専門言語聴覚士）の社会的評価が高まることが必要である。

# 日本細胞診断学推進協会
# 細胞検査士会

細胞検査士とは「がん細胞」を
探しだすのが仕事です。

**臨床検査技師の免許を取得後特定非営利活動法人日本臨床細胞学会の行う細胞検査士認定試験に合格しその資格を有する者。**

**有資格者数；約6465名 (平成21年10月 )**
**会　員　数；約6465名 (平成21年10月）**

癌の早期発見や早期診断を目的に、人体の細胞の一部を採取し形態学的基準に基づき、癌細胞だけでなく癌細胞と紛らわしい異型細胞や前癌病変に相当する異形成細胞の存在を顕微鏡で観察して発見することが主な実務である。実際には細胞検査材料の採取の介助、適切な細胞処理の選択、検査に必要な染色法の選択、検査結果の精度管理、標本の管理と保存など一連の検査実務も担当する。（臨床検査技師の業務も含まれる）

# 課題1：人員数と適正配置

◆配置基準がないために、チーム自体の構成メンバーに入っていない。

↓

【課題の解決策】

**診療体制の整備**

**1） 診療従事者；**
**<u>細胞検査士の配置の義務化</u>**

**2） 医療施設；**
**<u>細胞診断部門の設置化</u>**

# 課題2：卒後教育

- 学会での卒後教育制度は整備されているが、社会的評価が低い。

細胞検査士認定試験に合格した者に国際細胞検査士認定試験(International Academy of Cytology; CT, IAC)認定試験の受験資格が与えられる。この試験は2年に1回、日本でも実施されている。

生涯学習の実践として4年に一度の資格の更新

↓

【課題の解決策】

•国家資格化、専門細胞士検査士制度、など

# 課題3：技術に対する評価

## 専門職としての専門技術に評価がない

□単価が低く、標本作製、迅速診断などにコストが設定されていない。
□陰性標本の取り扱いに対して明確なルールが設定されていない。
（悪性細胞が認められた標本は必ず細胞診専門医とのダブルチェック後に報告される。）

↓

【課題の解決策】
1. 細胞診断の専門性を正当に評価する。
2. 法律内容を社会状況に即し、理解できるようにする。